

学校だより（後期学校評価結果号）

平成30年3月 15日
京都市立明徳小学校
校長 岡本 雅文
TEL 701-0111

後期学校評価集計結果概要

1月下旬ごろに行いました学校評価の集計結果および分析が整いましたので、ご報告いたします。
前期と同じ評価項目でアンケートを取らせていただきました。よって、引き続き保護者・児童・学校のそれぞれの視点から、確かな学力（知）・豊かな心（徳）・健やかな体（体）の3つの観点で、児童や学校、それぞれの取組の姿を確かめられるようにしています。したがって、前期との変容を確かめながら、児童の実態を明らかにし、本校の次年度への教育の取組に生かしていきたいと考えています。

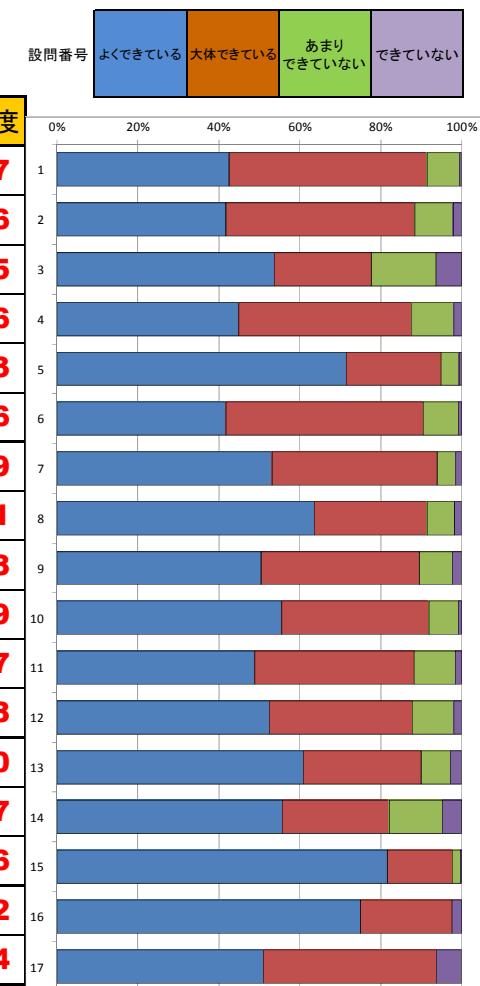
今回、保護者の皆様からは520枚の解答をいただきました。ありがとうございました。お忙しい中、ご協力をいただきありがとうございます。記述欄においても多くのお言葉を頂戴しました。概ね高評価をいただいているように思われますが、不十分な点も見受けられます。後ほど、記述いただいたご意見についてご報告いたします。

【資料1】は、児童の実現度を表しています。実現度評価は、すべて5を超えている結果から概ね満足できる状況です。また、7項目で前期よりも実現度が上がっています。相対的に実現度が高い中でも、「4 自分の考えをきちんと話したり、書いたりしている」「6 友だちの話をしっかりと聞き、よい姿勢できちんと学習に取り組んでいる」については、前期よりも高まっています。また、「7 学校やおうちでのルールをまもっている」「8 自分からすんで、あいさつをしている」「9 すすんでそうじをしたり、スリッパや上ぐつをそろえたりしている」についても、高まっています。今年度、道徳の教科の充実にむけて、学校全体で取り組んだことや、話す聞く力の育成に向けて、各学年授業の充実をすすめしたこと、児童会の活動を活性化させ、毎月児童会目標を設定したり、全校で意識して取り組んだりしたことが、一定の成果につながっていると思われます。児童会の取組として2月に行ったあいさつ運動でも、日に日に子どもたちが進んであいさつをするようになる様子が見られました。「2 わかるまで、ねばり強く学習に取り組んでいる」「5 おうちで宿題や学習をしている」については、少し実現度が下がりました。主体的な学習の姿にはまだ課題が残っていると感じています。また、「11 言葉づかいに気をつけています」「12 苦手なことにも挑戦しようとしています」についての高まりはありません。もともと実現度は高いので、大きな変化は見受けられませんが、前期よりも少し実現度が下がっていることを、一つの課題として、児童が主体的に考え、学習に挑戦できるように取組を工夫していきたいと考えます。「14 外遊びなど、すすんで体を動かしている」は、寒い時期での調査が関係しているのか実現度が0.3ポイントも下がりました。冬の体力向上週間（中間ランニング）などの取り組みを続けていますが、継続した取組が必要であると感じています。

うれしいことは、「17 先生に気軽に相談している」は、依然児童の実現度が低い項目であります、0.2ポイントの上昇で、少しずつ上がってきています。ますます信頼関係が築けるように、教職員一同で、努めてまいりたいと思います。

【資料1】H29 後期児童の実現度

		児童		よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	実現度
知	1	めあてにむかって、すすんで学習に取り組んでいる。	240	276	45	3	5.7	
	2	わかるまで、ねばり強く学習に取り組んでいる。	235	263	53	12	5.6	
	3	自分からすんで本を読んでいる。	302	134	90	36	5.5	
	4	自分の考えをきちんと話したり、書いたりしている。	253	240	59	11	5.6	
	5	おうちで宿題や学習をしている。	402	131	25	4	6.3	
	6	友だちの話をしっかりと聞き、よい姿勢できちんと学習に取り組んでいる。	235	274	49	5	5.6	
徳	7	学校やおうちでのルールをまもっている。	299	230	26	8	5.9	
	8	自分からすんで、あいさつをしている。	357	156	38	10	6.1	
	9	すすんでそうじをしたり、スリッパや上ぐつをそろえたりしている。	284	219	46	13	5.8	
	10	ひとのいやがることをしたり、悪口を言ったりしていない。	310	204	40	5	5.9	
	11	言葉づかいに気をつけています。	275	222	57	9	5.7	
	12	苦手なことにも挑戦しようとしている。	295	198	58	11	5.8	
体	13	給食を好きらいせず、食べている。	343	164	41	15	6.0	
	14	外遊びなど、すすんで体を動かしている。	313	148	74	27	5.7	
	15	交通ルールを守って、安全に登下校している。	460	91	11	2	6.6	
独自	16	楽しく登校している。	397	120	33	13	6.2	
	17	先生に気軽に相談している。	247	207	80	30	5.4	



学校だより（後期学校評価結果号）

【資料2】は、保護者・児童・教職員の実現度を比較したものです。

依然、児童の実現度が最も高い実現度を示しています。保護者・教職員の実現度は上昇傾向ではあります。しかし、保護者は、項目に対するバラつきが大きくなる傾向を示しています。項目によっては、児童の実現度と似通っているものもあれば、大きな差があるものもあります。児童と保護者の認識の差があり、評価の視点や達成した姿を明確にして、共通理解しておくことが必要だと感じます。また、児童と教職員の実現度が似通ってきました。到達すべき姿が共通理解できていたり、めざす子ども像を意識しながら生活できているのかもしれません。教職員が、同じねらいやめざす姿をしっかりともって取組ができてきている一つの証かと考えています。そう考えると、保護者と教職員で、めざす姿が十分に共通理解できていないのか、集団に対する評価と個に対する評価でのバラつきなのか、もう少し、検討する必要があり、保護者との連携をより深めていく必要を感じます。

【資料3】は保護者・教職員の実現度に児童の実現度を高学年と低学年に分けて一覧にしたものです。

児童の高学年と低学年を比べると、すべての項目で、低学年の方が高い実現度です。今までの傾向と同じですが、特に、1～6の項目（「知」）に関しては、低学年と高学年の差が大きくなっています。学年が上がるにつれて、客観的に判断できる力がついてくることと、学習に対する困りを感じはじめることがつながらがってきていると思われます。高学年も前期より実現度は上がっています。7項目で上昇しています。子どもも実感を持ちながら学校生活がおくれていることにつながっていると感じます。授業力の向上や家庭学習との連携など充実をますます図っていくことで、高めていきたいと思います。

【資料2】三者の実現度比較 □… 知 □… 徳 □… 体 □… 独自の取組等

【保護者】	【児童】	【教職員】
6.6	安全指導	6.6
6.5		6.5
6.4		6.4
6.3	主体的な学習	6.3
6.2	登校意欲	6.2
6.1	挨拶の習慣	6.1
6.0	バランスのよい食事	6.0
5.9	思いやりの心 ルールの遵守	5.9
5.8	挑戦する心 整理整頓	5.8
5.7	意欲的な学習 言葉遣い 運動意欲 ルールの遵守 バランスのよい食事	5.7
5.6	話す・書く 学習規律 学習への粘り強さ	5.6
5.5	読書の習慣	5.5
5.4	学校との信頼関係	5.4
5.3		5.3
5.2		5.2
5.1	主体的な学習 学校との信頼関係 挨拶の習慣	5.1
5.0	挨拶の習慣 学習規律 学校との信頼関係	5.0
4.9	意欲的な学習 バランスのよい食事 運動意欲	4.9
4.8	挑戦する心 整理整頓 意欲的な学習	4.8
4.7	言葉遣い	4.7
4.6	話す・書く 学習の粘り強さ	4.6
4.5		4.5
4.4		4.4
4.3		4.3
4.2	読書の習慣 運動意欲	4.2
4.1	主体的な学習	4.1
4.0		4.0
3.9		3.9
3.8		3.8
3.7	整理整頓	3.7
3.6	【保護者】	3.6
	【児童】	
		【教職員】

【資料3】

H29 3者後期実現度比較

1	知	意欲的な学習	めあてにむかって、すんで学習に取り組んでいる。
2	知	学習への粘り強さ	わかるまで、ねばり強く学習に取り組んでいる。
3	知	読書の習慣	自分からすんで本を読んでいる。
4	知	話す・書く	自分の考えをきちんと話したり、書いたりしている。
5	知	主体的な学習	おうちで宿題や学習をしている。
6	知	学習規律	友だちの話をしっかりと聞き、よい姿勢できちんと学習に取り組んでいる。
7	徳	ルールの遵守	学校やおうちでのルールをまもっている。
8	徳	挨拶の習慣	自分からすんで、あいさつをしている。
9	徳	整理整頓	すんでそうじをしたり、スリッパや上ぐつをそろえたりしている。
10	徳	思いやりの心	ひとのいやがることをしたり、悪口を言ったりしていない。
11	徳	言葉遣い	言葉づかいに気をつけている。
12	徳	挑戦する心	苦手なことにも挑戦しようとしている。
13	体	バランスのよい食事	給食を好きらいせず、食べている。
14	体	運動意欲	外遊びなど、すんで体を動かしている。
15	体	安全指導	交通ルールを守って、安全に登下校している。
16	独自	登校意欲	楽しく登校している。
17	独自	学校との信頼関係	先生に気軽に相談している。
18	独自	開かれた学校	学校だより・学級だより・ホームページなどで、学校の方針や様子がよくわかる。
19	独自	家庭地域との連携	学校は、家庭や地域と連携しながら教育活動を行っている。
20	独自	活動への参加	PTA活動や地域行事に参加・協力できている。

保護者	教職員	児童	低学年	高学年
4.9	4.9	5.7	6.0	5.4
4.6	5.1	5.6	6.1	5.4
4	4.4	5.5	5.7	5.4
4.6	5.2	5.6	5.7	5.3
5.1	4.3	6.3	6.5	6.3
4.7	5.1	5.6	5.8	5.5
5.4	5.7	5.9	6.1	5.7
5.1	5.1	6.1	6.1	5.9
3.7	5	5.8	5.9	5.5
5.6	5.4	5.9	6.2	5.7
4.7	4.8	5.7	6.2	5.4
4.2	5	5.8	6.2	5.5
4.9	5.7	6.0	6.0	5.9
4.9	4.4	5.7	6.3	5.6
5.8	5.5	6.6	6.7	6.4
6.1	5.2	6.2	6.4	6.1
5.1	5.1	5.4	5.6	5.0
5.6				
5.4				
4.1				

【資料4】

H29 後期保護者・教職員ニーズ度比較

			保護者 重要度	保護者 実現度	保護者 ニーズ度	教職員 重要度	教職員 実現度	教職員 ニーズ度
1 知	意欲的な学習	めあてにむかって、すんで学習に取り組んでいる。	6.6	4.9	20.5	6.9	4.9	21.4
2 知	学習への粘り強さ	わかるまで、ねばり強く学習に取り組んでいる。	6.6	4.6	22.4	6.9	5.1	20
3 知	読書の習慣	自分からすんで本を読んでいる。	6	4	24	6.6	4.4	23.8
4 知	話す・書く	自分の考えをきちんと話したり、書いたりしている。	6.7	4.6	22.8	6.9	5.2	19.3
5 知	主体的な学習	おうちで宿題や学習をしている。	6.4	5.1	18.6	6.2	4.3	22.9
6 知	学習規律	友だちの話をしっかりと聞き、よい姿勢できちんと学習に取り組んでいる。	6.6	4.7	21.8	6.7	5.1	19.4
7 徳	ルールの遵守	学校やおうちでのルールをまもっている。	6.6	5.4	17.2	6.9	5.7	15.9
8 徳	挨拶の習慣	自分からすんで、あいさつをしている。	6.8	5.1	19.7	6.8	5.1	19.7
9 徳	整理整頓	すんでそうじをしたり、スリッパや上ぐつをそろえたりしている。	6.4	3.7	27.5	6.7	5	20.1
10 徳	思いやりの心	ひとのいやがることをしたり、悪口を言ったりしていない。	6.8	5.6	16.3	6.9	5.4	17.9
11 徳	言葉遣い	言葉づかいに気をつけている。	6.3	4.7	20.8	6.7	4.8	21.4
12 徳	挑戦する心	苦手なことにも挑戦しようとしている。	6.2	4.2	23.6	6.9	5	20.7
13 体	バランスのよい食事	給食を好ききらいせず、食べている。	6.1	4.9	19.5	6.2	5.7	14.3
14 体	運動意欲	外遊びなど、すんで体を動かしている。	6.3	4.9	19.5	6.7	4.4	24.1
15 体	安全指導	交通ルールを守って、安全に登下校している。	6.8	5.8	15	6.9	5.5	17.3
16 独自	登校意欲	楽しく登校している。	6.7	6.1	12.7	6.9	5.2	19.3
17 独自	学校との信頼関係	先生に気軽に相談している。	6.5	5.1	18.9	6.9	5.1	20
18 独自	開かれた学校	学校だより・学級だより・ホームページなどで、学校の方針や様子がよくわかる。	6.2	5.6	14.9			
19 独自	家庭地域との連携	学校は、家庭や地域と連携しながら教育活動を行っている。	6.2	5.4	16.1			
20 独自	活動への参加	PTA活動や地域行事に参加・協力できている。	5.5	4.1	21.5			

【資料4】では、保護者と教職員のニーズ度を比較しています。

25を超えるとニーズがあるとの判断でみると、保護者は、「9 すんでそうじをしたり、スリッパや上ぐつをそろえたりしている」にニーズがあります。これは、昨年度の学校アンケートでも、前期の学校アンケートでもニーズ度の高い項目でした。保護者の中では、整理整頓の意識をより高めるとともに、習慣化できるような継続した声掛けなどが必要なのかもしれません。次は、「12 苦手なことにも挑戦しようとしている」です。実現度が低いため、ニーズ度が高いという状況となっていますが、前期よりもニーズ度が下がりました。主体性と結びついていると考えます。より主体的に取り組む姿が、挑戦しようとする姿にも反映してきているのではないかでしょうか。

教職員では、25を超えている項目はありませんが、「14 外遊びなど、すんで体を動かしている」の項目のニーズ度が最も高く、次に、「3 自分からすんで本を読んでいる」という項目となっています。この2項目は、今までニーズ度が高い項目でした。家庭と学校の取組とを結びつける必要があります。家庭との連携の一つとして、意識をしながらすすめていかなければなりません。特に女子の中には、教室など室内で遊んでいる、休日には、外に出ないなど運動能力調査の結果とも結びつくデータとなっています。教職員のニーズ度には、前期と比べて変化が大きい面があります。全体的に実現度が高まっていることで、ニーズ度が下がったという部分が大きいようです。また、教職員が今年度特に重点をおいて取り組んできた項目には、大きな変容が見られます。

★実現度・重要度の算出方法について

「実現度」「重要度」については、以下の方法で数値化をしております。

○それぞれの回答を以下のように数値化する

「よくできている・重要である」……7

「大体できている・やや重要である」……5

「あまりできていない・あまり重要でない」……3

「できていない・重要でない」……1

○それぞれの項目の総計を回答者数で割り、平均を出す。

●「無答」は、回答者数から除外し、別途分析する。

※「実現度」は、5を超えていると概ねできているととらえることができます。

★ニーズ度とは・・・

「重要度」「実現度」から「ニーズ度」（要求度）を以下の方法で算出することができます。

〔ニーズ度の算出方法〕 ニーズ度=重要度×(8-実現度)

○とても重要（7点）だが、できていない（1点）の場合

7×(8-1)=49 [ニーズ度の最大値]

○重要でない（1点）で、できている（7点）の場合

1×(8-7)=1 [ニーズ度の最小値]

○やや重要である（5点）が、あまりできていない（3点）の場合

5×(8-3)=25 [ニーズがあると判断する境界値]

ニーズ度が25を超える項目、またそれに近い項目についてはニーズがあると判断し、重点課題として考察する必要があります。

1 平成29年度 重点評価項目

人とのつながりや心身の健康を大切にし、これから社会を創りだす子どもの育成

○学力の向上（校内研究の充実・家庭学習の連携） ○自己管理能力の育成（健康教育の推進・運動機会の充実）

○心身の健康と規範意識の醸成（道徳、人権教育の充実・文化的経験の推進） ○開かれた学校の推進（家庭や地域の連携・伝統文化の充実）

2

分野	評価項目	評価指標	分析(成果と課題)	改善策
確かな学力	授業改善	興味・関心 授業の意欲 ジョイントプログラムの結果	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力学習調査やジョイントプログラムの結果は、概ね満足できる結果である。平均を下回っていたところもすいぶん上昇してきている。 ・学習に対する評価は、児童の評価は概ね満足できる状況で大きな変化はないが、保護者と教職員の認識が上昇傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より研究を道徳を核とし、「話す・聞く力」そして「話し合える力」の育成に向けて取組を進めてきたことに、一定に成果がみえてきている。確かな学力に関わって、児童の姿が高まっていると教職員による実現度評価も上昇します。教職員の授業改善やカリキュラムマネジメントを充実させていきたい。
	家庭学習の習慣化	主体的な学習 家庭学習の提出状況	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びにかかわっての児童の評価は大変実現度が高いが、教職員の実現度は上昇傾向であるが、大きな開きがある。 ・話す聞くや学習規律などの児童の評価は上昇傾向で、今年度の学校教育の取組、話す聞く力の育成に向けた取組が成果となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ますます、児童の実態を把握するとともに共有化を図り、研究活動を推進していく。 ・子どもたちの主体性が高まっているが、まだまだ初めてばかりの取組であるので、しっかりと定着できるように、継続して取組をすすめていきたいと考える。
	読書活動の充実	100冊読書の達成状況 図書室の本の貸し出し状況	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の取組に関わっても大きな変化はない。まだまだ100%ではないので、確実に家庭学習を定着させることも必要があるが、効果的な家庭学習や授業との連動に関わっては、吟味する必要がある。 ・読書の習慣は一定の成果は見られるが、読書の質や内容などを確認する必要がある。また、低学年ほど貸出冊数が多いが、低学年の読書の習慣が高学年にどのように影響を与えていているのか、吟味する必要はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の交流の機会を、たてわり活動や児童朝会、委員会活動等でも積極的に取り入れる。また、通常授業の話し合いの力を高める取組を学校教育のあらゆる場面で取り入れ、推進していく。 ・読書の充実に向けては、意図的な取組が必要であると考えている。本の活用の仕方や本に接する時間の確保など、読書の習慣が定着できるように取組を工夫していく。ブックトークなど工夫した本の紹介の時間を設定するなど読書週間の活動の充実を進めていく。
豊かな心	「公共の精神」に基づく態度の育成	たてわり活動の実施状況 当番活動の観察・状況把握	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつに関しては、来校される方々から、高い評価をいただくことがあります増えてきた。スリッパなど大きく乱れることが時には起こるが、以前よりは、子ども自身が気づいてそろえている姿を見る機会が増えてきている。 ・あいさつや整理整頓などに対しては、子どもの実現度も保護者の評価も上昇傾向である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心に関わる評価項目の実現度は、保護者や教職員の実現度は高まっている。どちらも子どもの変容を認識しているが、実現度には開きがあるため、子どもの姿を核にした情報共有や短期の目標を共有するなどの、連携を充実させていきたい。
	規範意識の向上	問題行動件数 あいさつの習慣化・言葉遣い	<ul style="list-style-type: none"> ・明徳農園の活動では、伝統文化教育として継続して取り組むことで、意識が高まっている。また、各学年での感謝の会がとても充実してきている。 ・ルールの遵守に関わる項目では、子どもも保護者も教職員も、3者とも上昇傾向であり、実現度の差がすくなくなってきた。 ・生徒指導上の細かな事案はまだまだ後を絶たない。いじめに関する事案も時にはあがるが、子どもも保護者もしっかりと受け止め次へつなげようとしていただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動やたてわり活動等の充実が子どもの変容にもつながってきているので、引き続き活動内容を充実させたり、継続して取組を進めていきたい。 ・系統性を意識した人権学習や道徳学習の取組は、全校が同じ時期に同じような内容で学習を進めていることが成果となって表れていると考える。引き続き取組の継続と充実を図っていく。 ・生徒指導上の問題やいじめの事案は起こっている。できる限り見落としのない対応や組織として対応していくことで、大きな問題には発展しないように対応していく。
健やかな体	自己を大切にする態度の育成	生徒指導アンケート 児童会活動の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果などから、依然女子の体力低下がみられる。女子の中に外に出ることもさくない児童が多い。 ・体力づくりを目的に、中間ランニングを今年度も持久走大会以降も行ったが、多くの子どもたちがまじめに熱心に取り組んでいた。与えられたことはしっかりと取り組むが、自ら目的意識を持って活動する傾向はさくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣アンケートなどの結果を活用し、学校全体の姿を教職員で共通理解を図り、生活の乱れを感じる児童には、大きな乱れになる前に保護者と連携を図りながら生活習慣の確立につなげていく。
	体力の向上	持久走の取組状況の把握及び、体力テストの結果	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起きや朝食の喫食率などから安定した生活習慣の子どもが多いが、高学年になるにつれて、乱れてくる傾向にある。健康の大切さをつなげながら、継続した保健指導などで、健康維持増進にむけて取組を図っていきたい。 ・「交通ルールを守って安全に登校している」項目の児童も保護者も実現度が高い。しかし、子どもの姿をみていると、地域やPTAの見守り活動がててできているところがある。まだまだ、見守り活動がない時や下校時、放課後など横着な行動をしていることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動の充実を図り、児童が主体的に生活習慣の改善に向けて取り組めるように考案していく。 ・中間マラソンの継続、体力テストの結果を教職員が把握し、体育の時間や休み時間などを活用して、意図的に体を動かせる時間を設定する。また、ロング昼休みの設定などで、体を動かす機会を増やしていく。 ・安全ノートの活用などを通して定期的に安全面への指導を続けるとともに、命の大切さについて考える時間も定期的に設定して行うことで、自らの命で自らで守ろうとする心情を高め、危機管理意識を養っていくとともに、どの場面でも同じような行動ができるように継続した指導を行う。
学校独自の取組	伝統文化教育の充実	総合的な学習の時間の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・明徳農園での活動を生活科や総合的な学習の時間の中に位置づけて継続して行っている。地域の方々の協力により、充実した機会となっている。 ・他教科領域の充実を考えると、明徳農園やわきの山での活動を整理し、十分関連付けながら取組をする必要がある。特に、わきの山の取組については、活用方法も含めて検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPなどの情報発信を継続して続けていく。今年度からの校門付近に設置した掲示板をより有効活用していく。 ・教職員の顔が地域でも保護者にもわかるようにするために、地域の行事には、限り教職員が参加して、子どもの様子を核に交流ができるようにする。
	地域との連携	運営協議会の方々の意見 アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科領域の充実を考えると、明徳農園やわきの山での活動を整理し、十分関連付けながら取組をする必要がある。特に、わきの山の取組については、活用方法も含めて検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明徳農園の取組に対して、各学年の取組を明確化し、系統立てた取組や畑の先生の系統的な連携ができるように、学習課程の共有化や整理、申し送りなどの充実を図る。
	開かれた学校づくり	HPや学級だよりに対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくりにむけて、HPや学校だよりをもとに継続して配信している。HPで配信した内容や学校だよりの内容についてご意見や感想をいただく機会が増えてきた。 ・学校運営協議会の方々に学校の取組に対してご支援いただき、充実した学校運営につながっている。 ・2年生や4年生と地域のお年寄りとの交流を継続し、多数の参加者で、世代を超えた交流が継続できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流の機会を、年間計画の中でしっかりと位置付けるとともに、末永く取組ができるように内容や時間など検討していく。

【資料 6】

保護者アンケート記述（後期）に関して（要約・抜粋）

後期保護者アンケートの記述にあたり、ご回答をいただきありがとうございました。今回多くの保護者の方から、学校や学級の取組について肯定的なご意見や感謝の言葉をいただきました。こうしたお言葉は、教職員にとって、これからの中等教育活動への大きな励みになります。ありがとうございます。しかし、これに満足してしまうことなく、明確になった成果と課題を来年度の取組につなげていきたいと考えます。以下に、課題や疑問、提案ととらえられる内容について、返答させていただきます。なお、前期のアンケートでお答えした内容については重複しますので、今回は省略させていただきました。個別にご確認になりたいことは、学校まで連絡をいただければお答えいたしますのでよろしくお願ひします。

★行事に関すること

○学習発表会の参観について（いつも多数お越しいただきありがとうございました。）

- ①人が多過ぎて子どもの姿が見づらいので工夫してほしい
- ②三脚を立てての撮影は控えてほしい、業者を入れて写真やDVDを販売できないか

⇒限られたスペースでのご参観いただくことになり、ご不便をおかけしています。出演学年の保護者を優先に、入れ替え制にするなど、参観の形態を検討していきたいと考えます。三脚の使用については、後方の方の参観の妨げになる場合がありますので、今後使用を控えていただくよう、ご案内のプリント等でお願いしていきます。業者による写真やDVDの販売は、個人が特定される写真を公開することを辞退されているご家庭がある中で、学校全体での販売には課題が多く、個人情報の観点から今後慎重に検討させていただきます。

○運動会について

- ①シートや三脚の使用を禁止してほしい
- ②家庭内は同色（組）にしてほしい

⇒①学習発表会同様にスペースに限りがありますので、譲り合って参観していただきたいと願っております。これまで以上に明確に保護者の皆様へのお願ひを発信します。

②色分けは、走力を基本にしながら様々な要素を考慮し学年の中でバランスを見ながら決めています。その上で、全ての児童の兄弟関係を調整することは困難でありますのでご了承ください。

○授業参観について

- ①参観日に教室の中や廊下での保護者の話し声が気になる、小さなお子様が教室を自由に歩き回ることが気になる
- ②保護者が参加できる活動は、仕事をしている保護者も参加しやすい時間帯に設定してほしい

⇒①以前より、授業中の保護者の声に関わるご意見をいただいている。参観いただく保護者の方々もずいぶん意識をしていただき授業に支障がないようにしていただいている。しかし、アンケートにもあるようにまだ気になる点があります。そこで、来年度の参観日には張り紙を準備するなど、学習の妨げにならないように学校として注意喚起してまいりたいと考えます。また、この場をお借りして、改めて保護者の皆様にもご協力いただきますようよろしくお願ひいたします。

②年間の行事に関わっては、できる限り曜日が分散するように配慮しているつもりですが、様々な行事の関係で、うまく分散しきれていないかもしれません。また、それぞれのお仕事の状況を鑑み時間を設定することは、現実的に不可能なことでもあります。学校が主体で行う休日の行事は、休日参観と休日運動会を計画しています。PTA主催の行事に関わっては、土曜日を利用した催しも計画していただいているので、こちらにもぜひご参加いただければと思います。働き方が多様化している中では、すべての人にとて出やすい時間帯や曜日の設定は難しいことをご理解いただければ幸いです。また、学校として大きな行事はできる限り早くお伝えをしていきたいと思いますので、予定を確認いただければ幸いです。

★学校からの発信について

○メール配信について

⇒行事の際などに状況をメールで配信していることについて、有り難いとのご意見を多数いただきました。昨年度の学校アンケートで、メール配信が頻繁過ぎるとのご意見があつたこともあり、関係学年のみへ発信にさせていただきましたが、学級閉鎖の連絡については、学校全体の状況を知りたいとのご意見が多數ありました。今後、配信内容を吟味し、配信先を考慮させていただきます。

○ホームページについて

①欠席連絡をサイトでできるようにしてほしい

⇒ホームページの更新が頻繁で学校の様子がよく分かると、ご満足頂いているご意見を多くいただきました。これからもご期待に沿えるよう、こまめの発信してまいります。①のようなご要望もありましたが、欠席される場合は特に、ご家庭との連絡を密に取りたいと考えています。連絡帳やお電話をいただくことで、直接保護者の方々とつながる機会を大切にしています。ご面倒ですがご協力をお願いします。

★その他

○インフルエンザなどに関わる学級閉鎖の基準について

⇒今年度は、例年ないインフルエンザの流行で学級閉鎖が相次ぎ、ご心配をおかけしました。また、ご協力ご理解ありがとうございました。その中で、基準があいまいであるとのご指摘がありました。学級閉鎖は、欠席人数だけではなく、感染拡大の予防の観点から、罹患児童の回復状況やその他の欠席理由での欠席状況、また気候など多くの要素を含めて、学校医とも連絡をとりながら決定します。結果として全てが最善の決断であったか否かは、ご意見の分かれるところですが、今年度の状況を今後の課題として、これからも最善の策が講じられるよう努めたいと考えています。

○ランドセルが重すぎて腰痛になることが心配。自宅での学習に必要でないものは学校に置くよう指導してほしい

⇒教科書が大判になり、教科によっては上下巻に分冊されていないものもあり、登下校の持ち物が重くなっている現状もあるかと思います。学校では、毎日時間割を合わせ、その日に必要なものだけを持ってくるように指導をしていますが、中には、全てのものを毎日持ち帰りしている児童もいるようです。ご指摘の観点からも、学校でも重ねて指導いたしますが、ご家庭でも子ども達の学習準備の確認にご協力をお願いします。また、副読本や一部の教材は、学級でまとめて保管していることもあります。新年度には、置いておくもの、持ち帰るものを担任と児童で再確認をいたします。また、毎日学習予定表を確認しながら持ち物をそろえることも、明日の見通しを持たせたり、計画立てで学習をおこなったりすることをねらいとして取り組んでいることもあります。ご理解いただければ幸いです。

★学校運営協議会理事・推進委員の皆様から (学校評価アンケートとしてすべて記述式でご意見いただきました)

学校の指導、取組（地域の学習、人権学習、中間ランニング、ホームページや学校だより）について肯定的なご意見を多数いただいています。また、昨年度から重点的に取り組んでいる『あいさつ』についても、挨拶ができる児童が増えてきた、教職員からの気持ちのいい挨拶があるとお褒めの言葉もいただきました。学習中の様子や読み聞かせの時間の様子からも落ち着いた意欲的な姿勢が見られるとの嬉しいお言葉もいただいています。

一方で、学校で決めている通学ルート以外の道路を横断する児童が見られる、放課後まなび教室では、慣れると横着な態度になるなど、学校外での行動にまだまだ課題が見られます。決められたことや与えられたことに真面目に取り組むことができる姿を評価しつつ、自分で考えて行動する主体性については、今後の課題として取り組んでいきたいところです。どの場面でも正しい行動ができる自律した姿を高めていきたいと思います。

教職員の働き方が社会問題になっていることにもご意見をいただいています。児童だけでなく教職員にもご配慮やご心配をいただいていることを感謝すると共に、教職員の働き方改革も一歩ずつ進めていきたいと考えています。

また、学校行事は前月に伝えてもらえるとありがたいとのご要望がありました。毎月1日付で配布する学校だよりを情報源としていただいている地域の方々へ同月初めの行事のお知らせが遅くなります。お詫びすると共に、来年度からは、学校だよりの行事欄を利用して次月の初めの予定もお知らせできるよう工夫して参ります。

率直なご意見やご感想をありがとうございました。成果と課題を明確にして、今後の取組を進めていきます。また、教職員一丸となって「子どものための子どもへの教育」を、ますます発展させていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。

【別添資料】

学校評価項目一覧

京都市立明徳小学校

				子ども	保護者	教職員
1	知	意欲的な学習	主体	めあてにむかって進んで学習に取り組んでいる	子どもはめあてにむかって意欲的に学習に取り組めている	子どもを意欲的に学習に取り組めるよう授業の工夫をしている
2	知	学習への粘り	思考・表現	わかるまで粘り強く学習に取り組んでいる	子どもはわかるまで粘り強く学習に取り組んでいる	子どもが粘り強く学習に取り組めるように支援している
3	知	読書の習慣	主体・表現	自分から進んで本を読んでいる	子どもは家庭でも読書している	子どもが進んで読書できるよう働きかけをしている
4	知	話す書く	思考・表現	自分の考えをきちんと話したり書いたりしている	子どもは自分の考えをきちんと話したり書いたりできている	子どもが自分の考えを話したり書いたりできるような取組をしている
5	知	主体的な学習	主体	家で宿題や家庭学習をいつもしている	家で宿題や家庭学習を進んでできている	子どもが継続的に家庭学習できるような支援をしている
6	知	学習規律	主体・表現	友だちの話をしっかりと聞き、よい姿勢や態度で学習に取り組めている	子どもが人の話をしっかりと聞きたい、良い態度で学習しようとしている	子ども同士の話し合い活動ができるような学習規律を整えている
7	徳	ルールの遵守	思考・表現	学校や家庭のルールを守っている	子どもは学校や家庭のルールを守っている	決まりやルールを守ろうとする態度を養えている
8	徳	挨拶の習慣	主体	自分から進んで挨拶をしている	子どもは挨拶をする習慣を身につけている	気持ちよく挨拶をする習慣を養えている
9	徳	整理整頓	主体・表現	進んで掃除をしたり、スリッパやはきものをそろえている	子どもは、進んで整理整頓ができたり、はきものをそろえたりできている	掃除やはきものをそろえるなど人のことを考えて行動する態度が養えている
10	徳	思いやりの心	思考・判断	人の嫌がることや悪口をいったりしていない	子どもは、仲間をおもいやり、仲よくすることができている	人権を基盤とした人間関係を築く心情を育てている
11	徳	言葉づかい	判断・表現	言葉づかいに気を付けている	子どもは、その場に応じた言葉づかいができる	場や相手に応じた言葉づかいができるような指導をしている
12	徳	挑戦する心	主体	苦手なことでも挑戦しようとしている	子どもが苦手なことに挑戦しようとしている	何事にも挑戦しようとするする態度を育んでいる
13	体	バランスのよい食事	思考・表現	給食を好き嫌いせず、食べている	子どもは好き嫌いをしないで食事ができている	好き嫌いをせず、しっかりと給食を食べられるような指導を心がけている
14	体	運動意欲	主体・表現	外遊びなどすすんで体を動かしている	子どもは、積極的に外遊びやスポーツをして、体をうごかしている	積極的に外遊びをしたり、体を動かしたりすることを進めている
15	体	安全指導	判断・表現	交通ルールを守って安全に登下校している	子どもは、交通ルールを守って安全に登下校できている	安全に行動できるような指導をしている
16	独自	登校への意欲			子どもは登校することを楽しみにしている	
17	独自	学校との信頼関係			学校に気軽に相談ができる	
18	独自	学校との連携			学校、学級だよりやホームページなどで学校の方針や様子がよくわかる	
19	独自	地域連携			学校は地域と連携しながら教育活動を行っている	
20	独自	活動への参加			PTA活動や地域行事に参加・協力できている	